

## 栃木県塩谷郡阿久津方言の副助詞

篠木 れい子

### I. はじめに

1. 調査対象地：栃木県氏家町は、宇都宮市より20kmほど北に位置する。氏家町は関東平野の北限でもあり、町は広い田圃を有している。また、町の西側には歴史的に大きな役割を演じてきた雄大な鬼怒川の流れがある。阿久津は、町の中心部から3～4kmほど南に位置する小集落である。集落の真ん中を国道4号線が縦断しており、定期運行バスが1日に10本ほど走っている。主な産業は農業であるが専業農家は少ない。人口1,011人、世帯数は282世帯である。
2. 調査年月日：1998年6月8日 午後2時～5時30分
3. 話者：石岡光雄さん 大正15年1月30日生（72歳）
4. 調査者・調査場所：篠木れい子・氏家町ミュージアム応接室
5. 調査方法：統一調査票による質問調査
6. その他：
  - ・当方言は無型アクセントであるので、アクセントの記述は省略した。
  - ・話者の発話はカタカナで示し、調査項目とは別に解釈が必要な場合は（ ）で示す。
  - ・「×」はその項目の内容に対する言い方がないことを示す。

### II. 調査結果

#### (1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

##### A. 添加

1. 雨だけでなく風さえ吹いてきた。 ○アメバッカシジャ ナグ {①カゼマデ  
②カゼモ} デデキタ。
2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。 ○サグカ アタリデ コメバッカ  
シカ ムギモ ヨカッタ。(作が当たりで米ばかりか麦も良かった。)

##### B. 予想外の事実

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。 ○コドモデセー カンタンニ  
ワープロ ツカッテル。
4. (宝くじが) 当たると思っていなかっただけに嬉しい。 ○アダルド オモッテ  
ネガッタガラ ウレシー。

##### C. 条件

5. 暇さえあれば釣りに行っている。 ○ヒマセー アレバ サカナトリ イッテル。

##### D. 例示

6. まあお茶でも飲んでください。 ○マーマー オジャデモ ノンデッタラ ヨガ  
ンベ。

(まあまあお茶でも飲んで行ったら良からう。)

7. おみやげにはこのまんじゅなどどうかな。 ○ミヤゲニ マンジューナンカ ドーダンベガ。
8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。 ○ピックラスルホド ウレシガッタ。(びっくりするほど嬉しかった。)
9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。 ○マサガ オメントコマデ ハナシガ イグトワ オモワナカッタ。
10. なぐるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。 ○ブンナグツタリ ケットバシタリ ヒデメニ アワシタ。(殴ったり蹴飛ばしたり、ひどい目にあわせた。)
11. 私なりに相談してくれれば良かったのに。 ○オレナリニ ヒトゴド ハナシテ クレバ ヨガッタノニ。(俺なりに一言話してくれれば良かったのに。)
12. 野菜なんていくらでもある。 ○ヤサイ {①ナンカ ②ナント} ナンボデモ デキルヨ。(野菜などいくらでもできるよ。)

一対の語の例示

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。 ○ショーユダッテ ミソダッテ ツクツタタダ。

択一

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。 ○オレデモ シャテデモ テツダイ イグヨ。

例外でない

15. 村長とて、そうするより仕方なかったんだらう。 ○ソンチョーダッテ ホースルヨリ ホカニ ナカッタダンベ。

列举

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。 ○ハルノヨーキンナッテ サグラモウメモ イッシヨニ サイダ。(春の陽気になって桜も梅も一緒に咲いた。)

同類の暗示

17. テレビもそろそろ買い替えよう。 ○テレビモ ソロソロ アダラシノ カウガ。(テレビもそろそろ新しいのを買うか。)

やわらげ

18. まお茶でも飲んでください。 ①オジャデモ ノンデゲ。(お茶でも飲んでいて。)/②オジャント アガッテツテクダサイ。(お茶など召し上がってください。)

E. 包括

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。 ○オボンニワ コドモヤ マゴダジガ ケーッテ クル。

## F. 提題

20. ゲートボールだってできるよ。 ○ゲートボールダッテ デギル。

話題にあげる

21. 何だい、いいことって。 ○ナンダイ ソノ イーゴドツテ。

極端なものの提示

22. そんなこと子供にでもできるよ。 ○ホーナゴド ドゴノ ガギダッテ デギルヨ。(そんなことこの子どもだってできるよ。)

23. 食べることくらいは何とかしたい。 ○クーゴドグレー ナントガ シテー。

24. 名前すらろくに覚えていない。 ○ナメーモ ログニ オベーデネー。

25. 弁当代に千円もかかった。 ○ベントーダイニ センエンモ カガッタ。

軽いものをあげる

26. これさえあればもう大丈夫だ。 ○コレセー アレバ ハー ダイジョーブダ。

(2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

## G. 分量・程度

27. 旅行で三日ほど家をあけた。 ○ミッカバッカ ウジ アゲダ。

28. 茶碗に半分くらいください。 ○ハンブングレーデ イーヨ。イレットゴレ。(半分くらいでいいよ。入れておくれ。)

29. 子供にでもわかるくらいのやさしい本だ。 ○コドモダッテ ワガルグレーノ ヤサシー ホンダ。

30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。 ○イッシューカンバガ ウジ アゲツカラ タノムヨ。(一週間ばかり家を空けるから頼むよ。)

## H. 基準

31. 今年の寒さは去年ほどではない。 ○コドシノ サムサワ キョネンホドジャーネー。

## I. 理由

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになってしまった。 ○チーット ユダンシタバッカシニ エレーゴドンナツタ。

## J. 「それにふさわしく」

33. 苦労しただけあって人間ができています。 ○クローシタダゲアッテ ニンゲンガ シッカリシテル。

形式名詞的用法

34. 毎日孫の守りやなんかで忙しい。 ○メーニチ マゴノ オドモリヤ ナンダカンダデ セワシー。

「それこそ」

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。 ○ホレゴソ バケツ プン  
マゲダヨーナ ドシャブリダ。

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。 ○オドツツアンバツカリカ オッカサンモ  
スポーツガ スキダ。

K. 今にも行われる

37. もう食べるばかりにしてある。 ○モー タベルバツカシニ シテアル。  
動作の完了直後

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。 ○タツタエマ シゴドガラ ケーッテキタバツ  
カリダ。

基準

39. 駅までもうちよつとだ。 ○エギマデ モー チツタダ。

L. 等量の反復

40. 一人ずつ呼んで話をした。 ○ヒトリズツ ヨバツテ ハナシタ。

M. 等量の配分

41. 一人に二個ずつみかんをやる。 ○ヒトリニ フターツツズツ ヤットコレ。

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N. 限定

42. 酒はたまにしか飲まない。 ○サゲワ タマーニシカ ノマネー。

43. 今朝は寝坊をしてバンだけ食べて来た。 ○ケサ ネポーシツチャツタンデ バ  
ンダゲ タベデキタ。

44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。 ○ホーダニ ベンキョーバカ シ  
テット カラダ コワスゾ。(そんなに勉強ばかりしていると体をこわすぞ。)

45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。 ○オラジノ タンボガ  
ノゴツテルッキリデ ヨソワ ゼンブ オワツタ。

O. 強調

46. もうこれだけしかない。 ○モー コレッキリシカ ネーンダ。

47. 今年こそいい年にしたい。 ○コドシゴソ イートシニ シテーモンダ。

P. 限界

48. これだけ言っても分からないのか! ○コンダゲイッテモ マーダ ワガンネー  
ノガ。

49. 2千円くらいまでなら何とかなる。 ○ニセンエングレーナラ ナントガ ナル  
ヨ。

(4) 陳述的なもの

Q. 「～ば～だけ」

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。 ○コヤシ ヤレバ ヤルダゲ ヨグ デギル。

「假定形・ば・こそ」

51. 心配すればこそ言うんだ。 ○シンベシッテツカラゴソ キツグ ユンダヨ。

(心配しているからこそきつく言うのだよ。)

「こそ・假定形」

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。 ○アノヤローワ モーンクバ  
ツカシ ユーケド ヒトノ ユーゴドワ キガネー。(あの野郎は文句ばかり言  
うけど、人の言うことは聞かない。)

53. 「～でこそあれ」という言い方はありますか。×

「未然形・ば・こそ」

54. 押しても引いても動かばこそ。 ○デゴデモ ウゴガネー。(梃子でも動かな  
い。)

「～こそ。」

55. 失礼なことを言わないでこそ。 ○キニ サウルヨナゴド ユーナ。(気にさわ  
るようなこと言うな。)

「～こそ～が」

56. 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。 ○キョーピワ コワグテ  
ウジガラ デネーケド ムガシワ ヨーグ アルイダモンダ。(近頃は疲れて家  
から出ないけど、昔はよく歩いたものだ。)

「～ば～ほど」

57. 働けば働くほどもうかる。 ○ハダラゲバ ハダラグホド カネガ ハイル。

(働けば働くほどお金が入る。)

R. 打ち消しとの呼応

58. 村長に聞くまでもないことだ。 ○ソynchョーニ キグマデノゴド ナガンベ。

(村長に聞くまでのことはないだろう。)

否定と呼応(それさえもない)

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。 ○アサツバラガラ コツツエワシクツテ ヒ  
ルメシモ クエネー。

否定的取り上げ

60. こんなものなどいくらでもあるよ。 ○コーダモノ イグラデモ アッペ。(こ  
んなものいくらでもあるだろう。)

全面否定

61. 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。○ダレダツテ ホダゴド イワレダラ  
キニ スッペ。(誰だってそんなこと言われたら気にするだろう。)

S. 次の動作が不可能

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。○ジューネンメー ムラー  
デッテッタキリ イッペンモ オドサダネー。(十年前村を出たきり、いっぺん  
も音沙汰がない。)

(5) モダリティー的なもの

T. 不確かな気持ち

63. いつのまにやら眠ってしまった。○イズノマニガ ネチャッタ。

64. 何のことか分からない。○ナンノコドダガ サッパリ ワガンネー。

推定

65. 後で遊びに行くかもしれない。○アトデ アソピサ エンカモシンネー。

どちらか分からない

66. 来るのやら来ないのやらよく分からない。○クンノガ コネノガ サッパ ワガン  
ネー。

はっきり言わない

67. どこやらへ引っ越したそうだ。○ドッカサ ヒッコシタンダツケワ。(どこかへ引  
越したのだったわ。)

U. 非難

68. お父さんたら今日も遅いのね。○オドツツアンタラ キョー マダ オセー。(お  
父さんたら今日また遅い。)

69. お父さんてば、子供のようなことを言って。○ウジノ オドツツアンテバ ガギミ  
デナゴド ユツテル。

(しのぎれいこ 群馬県立女子大学)